

川面凡兒

いんげい

神道家。

文久二年四月一日

豊前國生れ、

昭和四年一

月二十一日歿（八十二九）。

諱吉光、

字恆次、

號殿山、

蓮華法印。

漢學を修めたり、

明治十八年上京して佛典を研究、

十九年自由

黨報に主宰、

また

長野新聞に、

九州熊野新報に主宰を務む。

二十九年みいづ稜威會を設立し、

四十一年雜誌

大日本世界教を創刊。

川面凡兒全集に全十卷（昭和十四年刊）の他、

文獻に

故川面凡兒

先生十周年記念會趣旨に

（昭和十二年十一月）故川面凡兒先生十周年記

念會、

岡田庄二郎編

川面凡兒先生御歎謹解に

（昭和五十年十月一

日稜威會皇座連盟本部）等がある。

著書に日本神典官義に

（大正四年十一月）二十五日稜威會御大典記念

會、

憲法密一根本原理（前編）に

（昭和二年十一月）二十五日稜威

會）等。